

21005 社会福祉原論 Principles of Social Welfare		3 年次～ 通年 4 単位	
担当者	山中 俊克	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関 連 資 格	教職必・社福士必・精福士必(W)
サブタイトル	福祉の行財政と福祉計画を学ぶ		
授業内容 ・ ねらい	わが国の社会福祉を実施する行政システムはどのようになっているのか、国、都道府県、市町村の役割について学習するとともに、福祉事務所、児童相談所などの福祉行政組織や団体の役割について理解を深める。また、福祉行政に必要な福祉の財源を、国、都道府県、市町村と区別し、保険料や民間財源を含めた福祉財政のあり方について学ぶ。 こんにち福祉計画には、地域福祉、老人保健、介護保険、障害者福祉などのさまざまな種類の計画が存在するが、福祉計画と福祉行財政との関係を明らかにし、計画の策定や評価の方法についても学習をする。		
授業計画	前期 1. 前期授業のオリエンテーション 2. 福祉行政の国の役割 3. 福祉行政の都道府県の役割 4. 福祉行政の市町村の役割 5. 国の福祉財源 6. 都道府県と市町村の福祉財源 7. 保険料による福祉財源 8. 民間の福祉財源 9. 福祉行政の組織および団体の役割①（福祉事務所） 10. 福祉行政の組織および団体の役割②（児童相談所） 11. 福祉行政の組織および団体の役割③（身体障害者更生相談所） 12. 福祉行政の組織および団体の役割④（知的障害者更生相談所） 13. 福祉行政の組織および団体の役割⑤（婦人相談所） 14. 福祉行政の組織および団体の役割⑥（地域包括支援センター） 15. 前期のまとめ 後期 1. 福祉行政における専門職の役割①（福祉事務所の現業員） 2. 福祉行政における専門職の役割②（査察指導員） 3. 福祉行政における専門職の役割③（児童福祉司） 4. 福祉行政における専門職の役割④（身体障害者福祉司） 5. 福祉行政における専門職の役割⑤（知的障害者福祉司） 6. 福祉行政のこんにちの動向と課題 7. 福祉計画の意義と目的 8. 福祉計画における住民参加の意義 9. 福祉計画と福祉行財政の関係 10. 福祉計画の主体とは 11. 福祉計画の種類 12. 福祉計画の策定過程 13. 福祉計画の策定方法 14. 福祉計画の評価方法 15. 後期のまとめ		
教科書 参考書	教）社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座 第4巻 現代社会と福祉 社会福祉原論』および『新・社会福祉士養成講座 第10巻 福祉行政と福祉計画』（中央法規）		
評価方法	出席状況、授業態度、課題レポート、および定期試験などの総合評価をします。		
事前準備学習 履修条件等			